

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	0.9	BEEランク	B ⁻
建物名称	(仮称)S1W17MS	総合評価	★★★★☆		
建物用途	集合住宅				
延床面積	5,278.08 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策

最重点項目

省エネルギー ★★★★★

省資源等 ★★★☆☆

緑化 ★★★★★

雪処理 ★★★★★

レーダーチャート

この建物は特に **雪処理** が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計 16点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 2.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 2.0
Q1 光・視環境	スコア 4.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 5.0
		LR1 効率的運用	スコア 2.0
B 省資源等		合計 15点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0
C 緑化		合計 8点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0		
D 雪処理		合計 3点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
潜熱回収型の給湯器を採用し、省エネに配慮している。 戸数に対して十分な駐輪場・駐車場を敷地内に計画し、周辺の交通負荷の抑制に配慮した。 居室内に防汚性が比較的高く、交換も割と簡易にできる仕上げ材を使用し、維持管理に配慮している。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
乾式間仕切、吹付ウレタン等、比較的容易に分別できる資材を使用しており、資源に配慮している。	戸数に対して十分な駐輪場・駐車場を敷地内に計画し、周辺の交通負荷の抑制に配慮した。	ロードヒーティングを敷地全体に敷設し、敷地外には雪を出不さない様に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される